

コード	401030301
記入日	H27.11.6

## 新規事業評価表【事前評価】

課コード	112
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	山川 吉郎

作成年度	平成 27 年度
------	----------

評価対象事業名称	海岸堤防等老朽化対策事業
----------	--------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	地域資源を活かした「産業のしま」	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	3
事務事業コード	4010303	事務事業名称	水産業施設管理事業（漁港）	細目コード	841
関連計画		法令・条例規則等	海岸老朽化対策事業		

### 計画 ( PLAN )

対象：誰、何を対象にしているのか (対象1) 漁港海岸 (対象2)	対象指標：対象の大きさを表す指標 (対象指標1) 7漁港海岸 (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入  ・海岸保全施設の開口部を改良し、津波、高潮等における既存施設の緊急的な防災機能の確保及び避難対策を促進する。 →開口部改良（護岸の高さまで嵩上げし階段を設置する） 1.0式【13箇所】 H28：飯ノ瀬戸3、道士井3、津和崎1 H29：小河原2、崎浦1、江ノ浜2、神ノ浦1	活動指標：事務事業の活動量を表す指標 (活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度) ① 漁港海岸保全施設改修 13箇所 実施箇所数÷計画箇所数 平成29年度 ②
目的：何をしたいのか  ・これまでに整備した海岸堤防には築造後相当の年数が経過しているものがあり、部材の経年変化や波力等の影響による損傷によって機能低下が進行している。堤防の機能の維持、強化、回復等、老朽化対策を計画的に実施して、長寿命化を図ることを目的としている。	成果指標：目的の達成度を表す指標 (成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度) ① 背後住民の安全・安心な生活環境の確保 - - 平成29年度 ②

### 実施 ( DO )

	単位	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度以降
		H 28 ~ H 29							
活動指標	① 箇所	13	7	6					
	②								
成果指標	①								
	②								
総事業費 C (A+B)	千円	31,700	18,000	13,700					
直接事業費 A	千円	30,300	17,300	13,000					
人件費 B	千円	1,400	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	16,665	9,515	7,150				
	県補助金	千円	4,242	2,422	1,820				
	起債	千円	9,300	5,300	4,000				
	その他	千円							
一般財源	千円	1,493	763	730					

**評価 ( CHECK )**

評価項目		内 容
<b>1 次 評 価</b>	・事業の緊急性・必要性はありますか。	東日本大震災発生後、海岸保全施設開口部の安全性について問題となっていることから早急の対策が必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	開口部を改良することにより、施設背後の住民の安全が確保される。また、開口部の閉鎖作業が不要となることから作業者の安全も確保される。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	施設の安全確保は施設管理者の義務である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	津波、高潮等が発生した際、施設背後の住民の安全が確保されない。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	必用最低限の事業費とする。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

<b>2次評価</b>	<p>老朽化対策を行うことにより海岸保全施設の機能を強化し、甚大な被害の発生を予防することができ、国・県・町が一体となって取り組んでいるものであり、必要な事業と判断する。背後住民の安全確保に向けたハザードマップ作成、避難訓練、住民への高潮又は津波に関する情報提供など、関連するソフト対策についても関係課と連携して行うこと。</p>
-------------	---

<b>3次評価 住民等の意見</b>	
<b>町の対応</b>	

<b>事業の 方向性</b>	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。